

第 32 号

2008

1. 31

# マナビ通信

米沢慶山大学本部だより



## “生涯学習” 見~つけた

### オカリナポップ

決して派手ではなく、一つ一つ誠実に、やさしく、癒してくれるような楽器オカリナは、メンバーの生き方そのものです。サークルになり一年を迎え、ますます張り切って活動しています。

昨年は、月2回の練習、そして東京公演や11の会場で演奏する機会が与えられました。本当に感謝・感謝です。今年も多くのおみな様に聴いて頂けましたら幸いに思います。



### きもの着付け

和気あいあいと会話を楽しみながらキレイに着るコツや、さまざまな帯結びに挑戦しています。たんすに眠っていた着物たちも出番が増えて喜んでいるようです。

着物を通して感じられる四季の移り変わりや日本文化の素晴らしさにふれて、仲間との時間を大切にしていきたいと思っています。



市民おもしろなカレッジを受講された皆さんの中には、講座を受けて 気の合う仲間が出来たのでこれからも活動をしていきたいとサークルができた講座もあります。仲良く共通の話題で盛り上がり楽しそうです。

今回紹介したサークルの他にも「習字」・「絵手紙」・「折り紙」など幾つかあります。サークルを作りたいけれどどうすればよいか分からない時は慶山大学本部にご相談ください。

# おしょうしなカレッジ

の講座の取材は終了です。

## 和太鼓講座

中島 治 氏



大太鼓、中太鼓、小太鼓の3種類の太鼓を使って、基本打ちからお囃子の組み打ちまで初めて撥をもつ受講者に対して、ていねいな指導をしておられました。

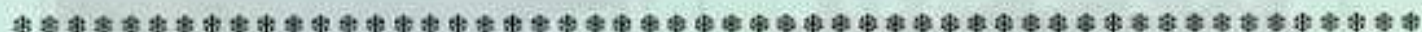
なかなかうまくリズムがとれなかったのが次第に息が合ってくると身体まで乗ってくるのです。

打っている時にほかの太鼓の音を聴きながら演奏することが大切なのだそうです。

## 私のビーズアクセサリ

本田 文子 氏

マットの上に材料のビーズを並べプリントの図と説明をみながら根気のいる細かい作業の様です。初心者対象の講座なので講師の細やかでていねいな指導でだんだん形になっていく様は出来上がりがとても楽しみなようでした。ビーズにテグスを通す順番や締め加減等がなかなか難しいようで、講師の手さばきは「魔法の手」で数をこなさないとなかなか満足のいく作品にはならないようです。



## よねざわ学アカデミー 第4回公開講演会

~~~~~米沢の水を知る~~~~~

### 演題 最上川の水環境とくらし

椎野学園米沢中央高等学校

副校長 佐藤 五郎氏



佐藤五郎先生から、最上川調査の話をお聞きする機会を得て、貴重な話をお伺いすることが出来た。米沢中央高科学部の最上川の調査は、まもなく40年を数えようとしている。

日本学生科学賞を何度も受賞していて、その貴重な研究成果は、これからも各方面で利用され更に美しい郷土作りに役に立っていくことと思われる。

源流部に近い米沢に住む私達は、この最上川の役割を認識し、下流に出来るだけきれいな

19年度に「おもしろなカレッジ」として60講座開講しました。その中で今年度新しく開講した講座が20講座あり、その取材をしてマナビ通信に掲載してきましたがお楽しみいただけましたか？

### 簡単おしゃれな

#### チーズ&ハーブ・スパイスクッキング

種渡 由美 氏

今回の料理はゴルゴンゾーラのペンネの Pasta・色とりどりの野菜サラダ・クリスマスのためにハーブをブレンドした Xmas ティーでした。

チーズはゴルゴンゾーラを使いグローブ・シナモン・オレンジピール・ローズヒップ等、日頃耳にはしているがなかなか使いこなせないハーブを使用していました。Pastaの茹で方の注意（塩加減・箸などでかき混ぜすぎない）や、紅茶が美味しくなる入れ方など、皆さん一生懸命でした。



### 作ってみよう私のホームページ

金澤 麗子 氏

6名の受講者が思い思いに PC に向かって動んでいました。受講の動機を尋ねたら、「自力で作って情報発信したい」「ソフトもお金も使わないで完結したい」「今おはやりのパソコンをいじってみたかったので・・・」などさまざまでした。「一人一人の経験が違うのでまさにマンツーマン、どうなる事かと思いましたが、このぐらいの人数なのでなんとかなりました」と講師の方のお話でした。実用できるページの出来上がりみなさん満足の様子でした。



水質と水量を伝えていく事が求められているのだらうと思う。

先生の長年の研究成果は、単に科学的なデータにとどまらず、最上川と私達の繋がり、その歴史・文化的側面、産業・生活史的な影響まで掘り下げて調べられているその姿勢は、最上川の全容を明らかにされているように思われる。

時あたかも山形県が、自然遺産の登録申請にこの最上川を中心に据えて取り組もうとしている今、先生の長期に亘る研究成果が日の目を見て、山形の新しいシンボルとして位置づけられ

る日が近い事は、何にもまして幸せな事であると思う。更なる研究の進展を願う事切である。

（永井 泰廣 記）



米沢中央高等学校・科学部の水質調査の様子

## 上杉の智将 直江兼続について その4

織田信長の死後、羽柴秀吉と柴田勝家が後継を争った。上杉には秀吉から誘いがかかった。しかし、「名門上杉が卑しい出自の秀吉に従えない」という考えが強く、勝家を挟み撃ちにしようとの申し入れを無視した。しかし、秀吉の勝利を聞くに及んで、秀吉への臣従を決めた。これ以降、豊臣家の一部将として活躍している。

小田原の役後、上杉家は越後から会津・伊達信夫・置賜への国替えが行なわれた。越後では90万石程度だったが120万石になった。越後を離れることには承服できないが秀吉の命令は無視できない。逆に冬場でも関東に出陣できるので、プラス面もあった。

朝鮮の役では、上杉軍も刷機を収集して持ち帰り、後年これらを元に禅林文庫が開設された。

秀吉の死後は、家康が天下取りに動き出し、石田三成と同盟した景勝と兼続が家康に正面から立ち向かう。(つづく)

(米沢マナビスト塾 新谷博司)

\* 禅林文庫・米沢藩の学府の元になる

### お詫びと訂正

マナビ通信31号の

「上杉の知将 直江兼続について その3」で名前に誤りがありました。正しくは  
直江景勝 → 直江景綱  
お倉の方 → お倉の方の姪 です。  
お詫びして訂正いたします。

### コラム

#### 納豆汁



一月七日の七草粥を食べる日に某テレビ局のアナウンサーが「今日は七草粥か納豆汁を食べる日ですね」と言っていました。「えっ!納豆汁、何で」雪深い土地柄の山形(新庄あたり)では七草を雪の下から掘るのが大変なので納豆汁を食べていたそうです。

「納豆汁」の具材はなんてったってずいざ(いもがら)せり・納豆・山菜・こんにゃく!各家庭の味で具材がいろいろかわります。凍み豆腐(とても寒い夜に外に豆腐を置き凍らせる)などが入ると季節感がでます。

今日では納豆汁の具・納豆汁用の納豆があるので手軽に作るができます。

### 鷹山大学本部からのお知らせ

#### 情報募集

鷹山大学本部では、生涯学習に関する皆様からの情報を広く募集しています。

これから開催予定のイベント、サークル情報、会員募集など旬の情報をお寄せ下さい。お待ちしております。

発行：米沢鷹山大学本部  
マナビスト

事務局：〒992-0012 米沢市金池 3-1-14  
置賜総合文化センター4階  
TEL 21-6111(内線 6423)  
FAX 21-6020  
ホームページアドレス

<http://vozan.educ.yonezawa.yamagata.jp/>